

令和4年11月18日

別府小便り

枕崎市立別府小学校 TEL 76-3452

校訓
大きな夢を
(その実現に向けて)
明るく
正しく
たくましく

11月

「当たり前」に「ありがとう」 校長 吉見一弥

11月17日(木)、南薩地区の初任者教員約40名をお迎えして、3年担任の 教諭が道徳科の公開授業を行いました。「自分を支えてくれている人に感謝の気持ちをもって接する態度」を高めることがねらいの授業でした。



授業の最後で、教諭の用意したフォトムービーをクラスみんなで視聴しました。「ありがとう(いきものがかり)」のオルゴールメロディに乗りながら、スクールガードさん、あいさつ運動の方々など、子供たちの日常を支えてくださっている方々の映像が次々に映し出されました。そして、途中からはサプライズ映像が・・・お仕事に励んでいる家族の映像でした。山下教諭が子供たちに内緒で集めていたものです。子供たちは驚きながらも、映像を黙って見つめ、うれしいような、照れくさいような、誇らしいような、なんとも言えない表情をしていました。とても温かい雰囲気の中、授業が終わりました。最後に、フォトムービーにこんなメッセージが流れました。

あなたたちは、多くの人に支えられ、毎日をすごしています・・・
「あたりまえ」ではないこの生活・・・
今、だれに、どんな言葉をかけたいですか？

感謝

そう、「当たり前」は、「当たり前じゃない」のです。
「毎日3度ご飯を食べる」、「温かいお風呂に入る」、「布団の中でぐっすり眠る」、「欲しいものを買ってもらえる」、「家族でお出かけする」、「学校で勉強する」、「仲良しの友達と遊ぶ」・・・私たちが、日常で「当たり前」に感じていることは、決して、「当たり前」ではないのです。

「当たり前」の反対の言葉が「有り難い」なのだそうです。「有り難い」とは、「有ることが難しい」、つまり、「めったにない」という意味です。そして、「有り難い」が変化して「ありがとう」になったと言われています。

私たちは、「当たり前」に感じていたことを、失ったときに初めて「有り難かったのだ」と気付くことが多いです。しかし、そういう状況にならなくても、時々立ち止まって日常を振り返り、「当たり前」は「有り難いことなのだ」と実感することが大切です。そして、「有り難い」と感じたときには、「ありがとう」と感謝の気持ちを素直に表現できるようにしたいものです。そうすれば、日々の生活を更に心豊かに過ごすことができるはずです。

合言葉「あ・そ・ぶ別府小学校」の「あ」は、「ありがとう」の「あ」でもあります。学校では、今後も、道徳科をはじめ様々な活動を通じて、「当たり前」を「有り難い」と実感し、「ありがとう」と素直に表現できる別府っ子の育成に努めてまいります。

ご家庭でも、何気ないことにも「ありがとう」と伝え合う、「ありがとう運動」に引き続き取り組んでいただくとありがたいです。

研究授業(6年)

10月31日(月)、6年生の研究授業を実施しました。当日は、大変お忙しい中、枕崎市教育委員会会の先生にお越しいただき、6年生の国語科における主体的で対話的で深い学びを実現する授業について、多くの御指導・御助言をいただきました。今年度、本校では「言葉による見方・考え方を働かせ、適切に表現する児童の育成～言語活動の充実を図り、書く活動とおして～」のテーマでの研究に取り組んでいます。今後も児童一人一人としての学力向上に向けた手立ての充実を図り、本校の子どもたちにできる喜びをたくさん味わわせていきます。



鹿児島みらいのデジタル人材育成推進事業

10月21日(金)、5・6年生児童23名を対象に鹿児島みらいのデジタル人材育成推進事業が実施されました。この事業は県内のデジタル関連企業等と連携し、学校において、児童生徒を対象に実社会における情報技術の活用実践等について学ぶ授業を実施することで、児童生徒のICTに係る意欲・関心の向上を図り、IoTやAIなどの技術革新を牽引できるようなデジタル人材の育成をめざすものです。

当日の講師には、(株)フォーエバー代表取締役 先生をお招きし、「ドローンのしくみとその活用」について、子供たちに指導していただきました。その後は、校庭で実際にドローンの操縦体験を行いました。初めてのドローンの操縦体験に、子供たちの歓声が校庭いっぱい響き渡りました。めったにできない貴重な体験をすることができた子供たち。今回をきっかけに、より一層学習や運動に取り組んでほしいと思います。



おめでとう

〈第14回緑茶図画コンクール審査結果〉

金賞 4年

〈読書感想文コンクール結果〉

特選

1年

2年

6年

入選

2年

3年

4年

4年

5年

6年

〈MOA美術展児童作品展〉

【絵画の部】

MOA美術館奨励賞

銀賞

銅賞

入選

【書写の部】

入選 4年

〈枕エコプロジェクトポスターコンクール〉

枕エコデザイン賞 6年

枕エコ賞(佳作) 6年

10月に新聞掲載されました児童作品は次のとおりです。

○ 南日本新聞「子供のうた」

10/24付 6年

題名「母の誕生日」

12月の主な行事予定

- 2日(金) 校内持久走大会 学級PTA 第3回PTA代議員会(日中開催)
- 4日(日) ふるさと美化活動
- 5日(月) 持久走大会予備日
- 6日(火) クラブ活動(反省) 第2回青少年育成地域懇談会 第2回校外生活指導連絡会
- 7日(水) 第4回スクールカウンセリング 家庭教育学級・学校保健委員会
- 10日(土) 土曜授業日 ロングスキルタイム PTA活動研究委嘱公開(立神中) 2年学級レクリエーション
- 11日(日) 門松づくり(予定)
- 13日(火) クラブ活動(3年見学)
- 15日(木) 読み聞かせ(のほら'S)
- 16日(金) 市民あいさつ運動
- 17日(土) 青少年育成の日 青少年講座「そまんずし作り」
- 18日(日) 家庭の日
- 23日(金) 2学期終業式(給食なし) 子ども読書の日